

市内障害児者福祉施設管理者 各位

川崎市健康福祉局障害保健福祉部長

新型コロナウイルス感染症蔓延期における障害児者福祉施設内陽性者の入院対応について（その 2）

日頃より、本市障害福祉行政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症については、依然として、神奈川県内をはじめ新規感染者が連日多数確認されているところでございます。

こうした状況の中、令和 3 年 1 月 22 日付け 2 川健障計第 1330 号により、障害児者福祉施設において利用者に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、原則入院することとされているところを、新規感染者の増加に伴い、医療現場において病床が逼迫していることから、感染者の病状に応じた施設内での療養について御協力をお願いしたところでございます。

今般、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が一時のピークと比較して減少したことや病床の更なる増床により、病床の逼迫が一定改善したこともあり、障害児者福祉施設内陽性者の入院対応について変更する旨令和 3 年 2 月 12 日付け 2 川健保政第 664 号により保健医療政策室長から示されたところでございます。

本市としては、この困難な状況を各障害児者福祉施設の皆様とともに乗り切るために引き続き可能な限りの支援を行ってまいります。当面の間、次のことに留意し、感染者の病状に応じた施設内での療養について御理解、御協力をお願いいたします。

- 1 各障害児者福祉施設は、入院調整を円滑に行うため、利用者に発熱等の症状がみられる場合、DNAR（延命処置・人工呼吸器装着希望の有無）の確認及び「利用者等基礎情報リスト」の作成をお願いします。
- 2 各障害児者福祉施設は、発熱、食欲低下等新型コロナウイルス感染症による何らかの症状が生じている方（無症状でない方）や、感染者の酸素飽和濃度（SpO2）が 95%を下回り、協力医療機関等が入院の必要性があると判断した方については、原則として『日中（9 時から 17 時）に』『区役所へ』入院調整依頼をしてください。また、入院調整に当たっては、区役所の指示に従ってください。
- 3 夜間の入院調整は、病床が日中より夜間の方が少なくなり厳しいことから、原則として、翌朝に依頼してください。ただし、感染者の酸素飽和濃度（SpO2）が 95%を下回り、協力医療機関等入院の必要性があると判断した場合は、119 番要請、神奈川県コロナ 119 番（045-285-1019（24 時間））に連絡してください。
- 4 入院後、医療処置（酸素、点滴など）が不要となった場合については、療養期間終了を待たずに退院し、施設へ戻ることもあり得ます。その際には、各障害児者福祉施設において利用者の受け入れについて御協力をお願いします。

担当 障害計画課事業者指導担当 TEL 044-200-0082
